



ふくしまからはじめよう。

全国からの応援が復興の力に!



全国からの応援の輪が広がっているんだね。

震災と原発事故からの復興に向けた業務に対応するため即戦力として全国から福島県に多くの職員が派遣されています。今回は、応援職員として本県で勤務している職員の皆さんをご紹介します。



知事メッセージ

力を合わせて復興を加速

福島県知事 内堀雅雄

派遣職員の皆さんには、正に福島県職員になりきってそれぞれの業務に携わっていただいております。本県の復興に欠くことができない大きな存在になっています。

皆さんの活躍もあり、被災したインフラの復旧や観光地にぎわいの回復など明るい光が着実に広がりを見せ、県内各地に笑顔が戻ってきていると感じております。

しかし、福島県全体の復興を図る上で解決すべき課題は多くあります。これからも、福島に心を寄せてくださる全ての方々と手を携え、「新生ふくしま」の実現を目指して全力で取り組んでまいります。

東京都から 応援

いわき建設事務所
(いわき市)
いのうえ ひろと
井上 寛人 さん



被災地の力になりたい

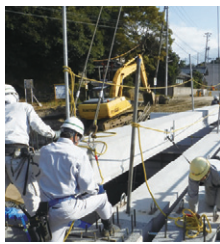
少しでも被災地の力になりたいという思いで福島県に来ました。いわき市小浜地区の区画整理事業に合わせた道路改良工事と橋の架け替え工事を担当しています。これまででも神奈川県や群馬県などのさまざまな県から来た応援職員が担当していた工事です。津波被害の大きかった地区ですが、日々現場に行くたびに復興が少しずつ進んできていると感じています。

休日には、友人と県内を巡り、食や自然を満喫しています。

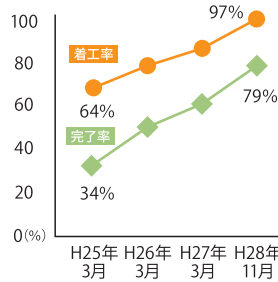


小浜地区の工事状況

浜通りの土木施設復旧工事進捗状況



橋を架け替えて安全通行



山梨県から 応援

相双農林事務所
(南相馬市)
むらつじ ちえみ
村辻 千絵美 さん

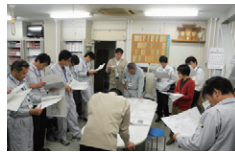
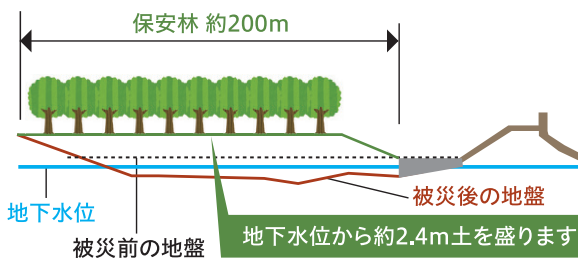


人とのつながりを大切に

津波で被害を受けた海岸防災林の復旧工事を担当しています。山梨県では治山ダムを担当していたので、初めは慣れないこともありましたが、施工方法を職員同士で検討したり、自ら工法を提案したりして、皆で議論しながら、全国でも類をみない大規模事業を進めています。

森林林業部で14名の応援職員と知り合いました。地元に戻ってから、ここで培ったネットワークや経験を生かして仕事をしたいと思っています。

海岸防災林の復旧工事



工法を議論中



県民の温かさ、
優しさを実感

震災のあった年の8月から10月まで福島県に派遣されて大熊町や浪江町のパトロールをしていました。今回もパトロールに行ってみると、5年前に見た風景と変わっていない場所もあり複雑な気持ちでした。

今は、被災地の各家庭を1軒ずつ訪問したり仮設住宅に行ってお話を伺っていますが、「大変だね」「また来なよ」と温かい声を掛けてもらい、県民の皆さんの優しさを実感しています。これまでのウルトラ警察隊が築いてきた信頼のおかげですね。

警視庁から
応援

災害対策課特別警ら隊
(福島市)
わらしな まさと
薫品 雅人さん



テレビもチェック! FTV
「キビタンGO!〜ふくしまからチャレンジはじめよう。〜」
2月9日(木) 21:54放送

ウルトラ警察隊の訪問活動



パトカーにウルトラ警察隊のマークが目印



各家庭を訪問し安全を確認!

県全体で563人の
職員が県内で
活躍しているよ。



福島の良い
体感してほしい

民間企業から
応援

復興・総合計画課
(福島市)
やまもと えい すけ
山本 英佑さん



兵庫県出身で阪神淡路大震災時に被災し、同じく辛い経験にあつた東北には特別な想い入れがあります。住民の皆さんが前向きに頑張る姿を見て「復興の力になりたい」という思いがありました。

首都圏の9つの自治体や企業に向けて復興状況の発信や県産品の販路拡大、教育旅行の誘致など新たな連携を模索しています。風評と風化の2つの逆風を克服するのは難しいことですが、国内外を問わず多くの方々を実際に来て、見て、食べて、福島の良いさを肌で感じてほしいですね。

首都圏の9つの都県市からの応援!



浦和レッズの試合や東京都、埼玉県などの広報誌でPR

